

## 有人用大型マルチコプターの開発

京都頸髄損傷者連絡会 平野 功

。いつかは自分の操縦で空を飛んでみたい。そんな思いは障害者にもあります  
 そんな想いを叶えてくれるのが、有人用大型マルチコプターです。マルチコプターの機体であれば、電動車いすを利用している重度の障害者でも、電動車いすと同じ感覚で操縦できるのではと考え  
 。2013年の夏頃よりこの開発を始めました

人間が乗れるほどのマルチコプターは海外では作られた例がいくつかあったもの、日本では誰も作っていないようなので、ほとんど自分で情報を集め製作を進めなければなりません。小型マルチコプターの完成品を購入し、構造や部品を調べて設計しました。部品はネット通販を利用して購入し、私の息子や妻、親戚、友人の息子、ヘルパー、事業所のスタッフなどいろいろな方々に組み立ての支援をしてもらいました

2014年9月に浮上試験に成功してからは、徳島大学三輪昌史准教授や空飛ぶクルマを開発中のCARTIVATOR代表)

中村翼氏)と協力して開発を進めています。2015年4月からは機体を徳島大学に移送し、安定飛行の実現のため浮上実験を繰り返しています

今後、有人での飛行試験を実施するため、航空局に対して自作航空機としての登録を申請中で、将来は、誰もが簡単に安全に操縦できる機体を目指しています

。今回のものづくりの経験を生かし、現在、格安の車いす用体重計なども製作しています

<https://www.facebook.com/isao.hirano.758>

[http://homepage2.nifty.com/i\\_hirano/flyingchair.htm](http://homepage2.nifty.com/i_hirano/flyingchair.htm)



開発中の試作機と



初めての浮上試験の様子



徳島大学に展示中の試作機



徳島大学に集まった開発メンバー